

接続料と利用者料金との関係の検証結果

(単位:億円)

| サービス | ①利用者料金収入 | ②接続料相当 | ③差分 (①-②) | ④利用者料金収入に占める差分の比率(③÷①) | 接続料相当の算定方法 (以下の接続料等に需要を乗じて算定) |
|--------------|----------|--------|--------------|------------------------|---|
| 加入電話・ISDN基本料 | 2,605 | 2,038 | 567 | 21.8% | 端末回線伝送機能(メタル端末回線・光信号端末回線・メタル加算料)、回線管理運営費、回線収容装置 |
| 加入電話・ISDN通話料 | 225 | 126 | 99 | 44.0% | 市内通信機能、加入者交換機能、中継交換機能、中継伝送共用機能、加入者交換機回線対応部共用機能、中継交換機回線対応部共用機能、NGN(IGS接続機能) |
| フレッツADSL | 162 | 88 | 74 | 45.7% | 特別収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(ATMインターフェース)、端末回線伝送機能(ドライカッパ・MDF)、DSL回線故障対応機能、回線管理運営費 |
| フレッツ光ネクスト | 4,450 | 2,231 | 2,219 | 49.9% | 回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光主端末回線・光信号端末回線・光信号分岐端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、光信号電気信号変換機能、NGN(収容局接続機能・優先パケット識別機能(優先クラスを識別するもの)・一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラス))、回線終端装置 |
| フレッツ光ライト | 222 | 136 | 86 | 38.7% | 回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光主端末回線・光信号端末回線・光信号分岐端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、光信号電気信号変換機能、NGN(収容局接続機能)、回線終端装置 |
| ひかり電話 | 1,248 | 123 | 1,125 | 90.1% | NGN(IGS接続機能・中継局接続機能)、加入者交換機能、中継交換機能、中継伝送共用機能、IP通信網県間区間伝送機能 |
| ビジネスイーサワイド | 259 | 131 | 128 | 49.4% | イーサネットフレーム伝送機能、端末回線伝送機能(光信号端末回線) |

(注1)利用者料金収入は、H28年度の実績。

(加入電話・ISDN通話料及びひかり電話については当社が料金設定をしているものに限ります。フレッツ光ネクストマンションタイプのうちVDSL方式については、VDSL装置の利用料を含みません。)

(注2)接続料相当は、各サービスで使用する設備ごとのH28年度の実績需要に今回申請したH30年度適用接続料を乗じて算定しています。

(加入光ファイバ等の収容率は接続料設定上の予測値)

(フレッツ光ネクスト・ライトについては、中継系ルータ交換伝送機能相当と関門系ルータ交換機能相当を推計トラヒックを用いて按分)

(注3)加入電話・ISDN基本料の接続料相当には、回線数の増減に応じて当該設備に係る費用が増減するものに係る費用(NTSコスト)の352億円は含みません。

接続料と利用者料金の関係の検証結果

(総務省が決定するサービスメニュー)

| 品目 | | 検証に用いた接続料等 | 検証結果(注) | |
|----------------------------|---|--|---|---|
| 1. フレッツ光ネクスト | (1) ファミリータイプ | 回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光信号分岐端末回線・光信号主端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(收容局接続機能)、回線終端装置 | ○ | |
| | (2) ビジネスタイプ | 回線管理運営費、端末回線伝送機能(光信号端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(收容局接続機能)、回線終端装置 | ○ | |
| | (3) マンションタイプ (VDSL方式/LAN配線方式) | ①ミニ ②プラン1 ③プラン2 | 回線管理運営費、端末回線伝送機能(光信号端末回線)、光信号電気信号変換機能、NGN(收容局接続機能)、回線終端装置 | ○ |
| | (4) マンションタイプ (光配線方式) | ①ミニ | 回線管理運営費、端末回線伝送機能(光信号端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(收容局接続機能)、回線終端装置 | ○ |
| | | ②プラン1 ③プラン2 | 回線管理運営費、端末回線伝送機能(光信号端末回線・光信号伝送装置)、NGN(收容局接続機能)、回線終端装置 | ○ |
| (5) プライオ | 回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光主端末回線・光信号分岐端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(收容局接続機能・優先パケット識別機能(優先クラスを識別するもの)・一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラス))、回線終端装置 | ○ | | |
| 2. フレッツ光ライト | (1) ファミリータイプ | 回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光主端末回線・光信号分岐端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(收容局接続機能)、回線終端装置 | ○ | |
| | (2) マンションタイプ | 回線管理運営費、端末回線伝送機能(光信号端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(收容局接続機能)、回線終端装置 | ○ | |
| 3. ひかり電話(関門系ルータ交換機能を用いる場合) | | NGN(收容局接続機能・優先パケット識別機能(優先クラスを識別するもの)・一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラス))、IP通信網県間区間伝送機能(優先クラス) | ○ | |
| 4. ビジネスイーサワイド | | イーサネットフレーム伝送機能、端末回線伝送機能(光信号端末回線) | ○ | |

(注) ○:利用者料金が接続料の合計を上回っているもの ×:利用者料金が接続料の合計を下回っているもの

<利用者料金収入の算定方法>

1. フレッツ光ネクスト : 代表的な割引プラン(にねん割)の適用率と割引額をもとに、1ユーザあたりの平均的な割引額を算定し、約款料金に反映。
2. フレッツ光ライト : 基本料は約款料金。加算料は実績収入を稼働施設数で除して算定。
3. ひかり電話 : 実績収入を稼働施設数で除して算定。
4. ビジネスイーサワイド : 収入実績と稼働回線数をもとにした割引前収入(理論値)の差額を稼働回線数で除すことで、1ユーザあたりの平均的な割引額を算定。

<接続料相当の算定方法>

接続料相当は、今回申請したH30年度適用接続料を用いて算定。

- ・加入光ファイバ等の收容率は接続料設定上の予測値。
- ・フレッツ光ネクスト・ライトについては、中継系ルータ交換伝送機能相当と関門系ルータ交換機能相当を推計トラフィックを用いて按分。